

令和 3 年 3 月 1 1 日
建設水道常任委員会資料
上 下 水 道 部

宇治市地域水道ビジョン第 3 次事業実施計画及び財政収支総括、宇治市水道
事業ビジョン・経営戦略第 1 次事業実施計画（案）について

目 次

- | | |
|----------------------------------|--------|
| 1. 宇治市地域水道ビジョン 第3次事業実施計画 総括 | P. 1～ |
| 2. 宇治市地域水道ビジョン 第3次財政収支 総括 | P. 13～ |
| 3. 宇治市水道事業ビジョン・経営戦略 第1次事業実施計画（案） | P. 21～ |

宇治市地域水道ビジョン 第3次事業実施計画

総 括

令和3年3月

宇治市上下水道部

1. 策定の目的

平成22年3月に「宇治市地域水道ビジョン」（以下、「水道ビジョン」という。）を策定し、今後10年間の水道事業の総合的な指針を定めました。この事業実施計画は水道ビジョンの基本施策を実現するための具体的な取り組みを定めたもので、事業の目標、内容、取組予定を具体化し、事業執行の財政見通しを立てた上で、実施計画に基づき事業を実施することにより、水道ビジョンの着実な実現を目指すものです。

実施に当たっては、平成23年度～25年度までを第1次、平成26年度～28年度までを第2次、平成29年度～令和2年度までを第3次事業計画とし策定しています。

2. 第3次事業実施計画の評価

平成29年3月に策定した第3次事業実施計画の進捗、成果等を検証し、事業ごとの評価を行いました。



3. 事業実施計画

基本目標 2-1 水運用の安定

基本施策 2-1-3 水道施設の再編成

事業・取組	2-1-3-1 浄水場統廃合事業				
内 容	老朽化した神明、奥広野浄水場を統廃合し、新たな浄水施設整備のための設計および工事等を行います。				
スケジュール(計画)	H29	H30	R1	R2	R3以降
実施設計・工事					
スケジュール(実施)	H29	H30	R1	R2	R3以降
実施設計・工事					
事業費	649,000千円 → 847,000千円(見込)				
評価	新たな浄水施設整備の実施設計を行い、平成29年度から工事に着手しました。令和2年度末に浄水施設の一部が完成し、給水を開始しました。引き続き令和3年度末の完成を目途に工事を行います。				

事業・取組	2-1-3-5 配水区域再編事業				
内 容	平常時における水量・水圧の安定と災害時における給水の相互運用を図るため、第1次事業実施計画で行った配水区域の再編に基づき、順次、配水区域の変更を行います。				
スケジュール(計画)	H29	H30	R1	R2	R3以降
配 水 区 域 変 更					
スケジュール(実施)	H29	H30	R1	R2	R3以降
配 水 区 域 変 更					
事業費	〇千円 → 〇千円(見込)				
評 価	配水区域の再編に基づき、広野町、下居、東山、折居台、神明浄水場の各配水区域の一部および神明高区配水区域の全域を変更しました。				

基本施策 2-1-5 基幹施設の更新

事業・取組	2-1-5-1 宇治浄水場施設整備事業				
内 容	耐震二次診断で補強が必要とされた施設や電気、機械設備、場内配管等について整備を進め、浄水施設の耐震化完了を目指します。				
スケジュール(計画)	H29	H30	R1	R2	R3以降
実施設計・工事					
スケジュール(実施)	H29	H30	R1	R2	R3以降
実施設計・工事					
事業費	1,765,000千円 → 1,549,000千円(見込)				
評価	令和元年度に浄水施設の耐震化が完了し、浄水施設の耐震化率は74%になりました。令和2年度は老朽化した設備の更新工事を行っています。				

基本施策 2-1-6 老朽管路の更新

事業・取組	2-1-6-1 老朽管更新・耐震化事業				
内 容	下水道工事に伴う移設や改良工事で、石綿セメント管や鋳鉄管等老朽管の更新・耐震化を積極的に進め、管路の耐震適合率を27%まで向上させることを目標とします。また、令和元年度までに石綿セメント管の解消を目指します。				
スケジュール(計画)	H29	H30	R1	R2	R3以降
老朽管路布設替え					
スケジュール(実施)	H29	H30	R1	R2	R3以降
老朽管路布設替え					
事業費	950,000千円 → 1,121,000千円(見込)				
評価	老朽管の更新・耐震化を進め、管路の耐震適合率は約28%になる見込みです。また、石綿セメント管については更新により、残り約0.7kmになりました。				

基 本 施 策 2-1-7 鉛製給水管の解消

事 業 ・ 取 組	2-1-7-1 鉛製給水管解消事業				
内 容	移設、改良、修繕工事や他工事に合わせて、鉛製給水管の布設替えを進め、年間1,000件の布設替えを目標とします。				
スケジュール(計画)	H29	H30	R1	R2	R3以降
鉛製給水管布設替え					
スケジュール(実施)	H29	H30	R1	R2	R3以降
鉛製給水管布設替え					
事 業 費	350,000千円 → 144,000千円(見込)				
評 価	鉛製給水管の布設替えを進め、この4年間の布設替え件数は、約2,800件になる見込みです。				

基本目標 2-2 災害対策の充実

基本施策 2-2-2 水道施設の耐震化

事業・取組	2-2-2-1 主要配水池耐震化等整備事業				
内 容	配水池の再編検討を踏まえて、主要配水池の計画的な更新・耐震化を進めるため、広野町配水池および折居台配水池の耐震化を行い、耐震化率を38%まで向上させることを目標とします。				
スケジュール(計画)	H29	H30	R1	R2	R3以降
実施設計・工事					
スケジュール(実施)	H29	H30	R1	R2	R3以降
実施設計・工事					
事業費	673,000千円 → 775,000千円(見込)				
評価	令和元年度に広野町配水池および折居台配水池の耐震化が完了し、配水池の耐震化率は38%になりました。令和2年度は琵琶配水池の場内配管の整備を行っています。				

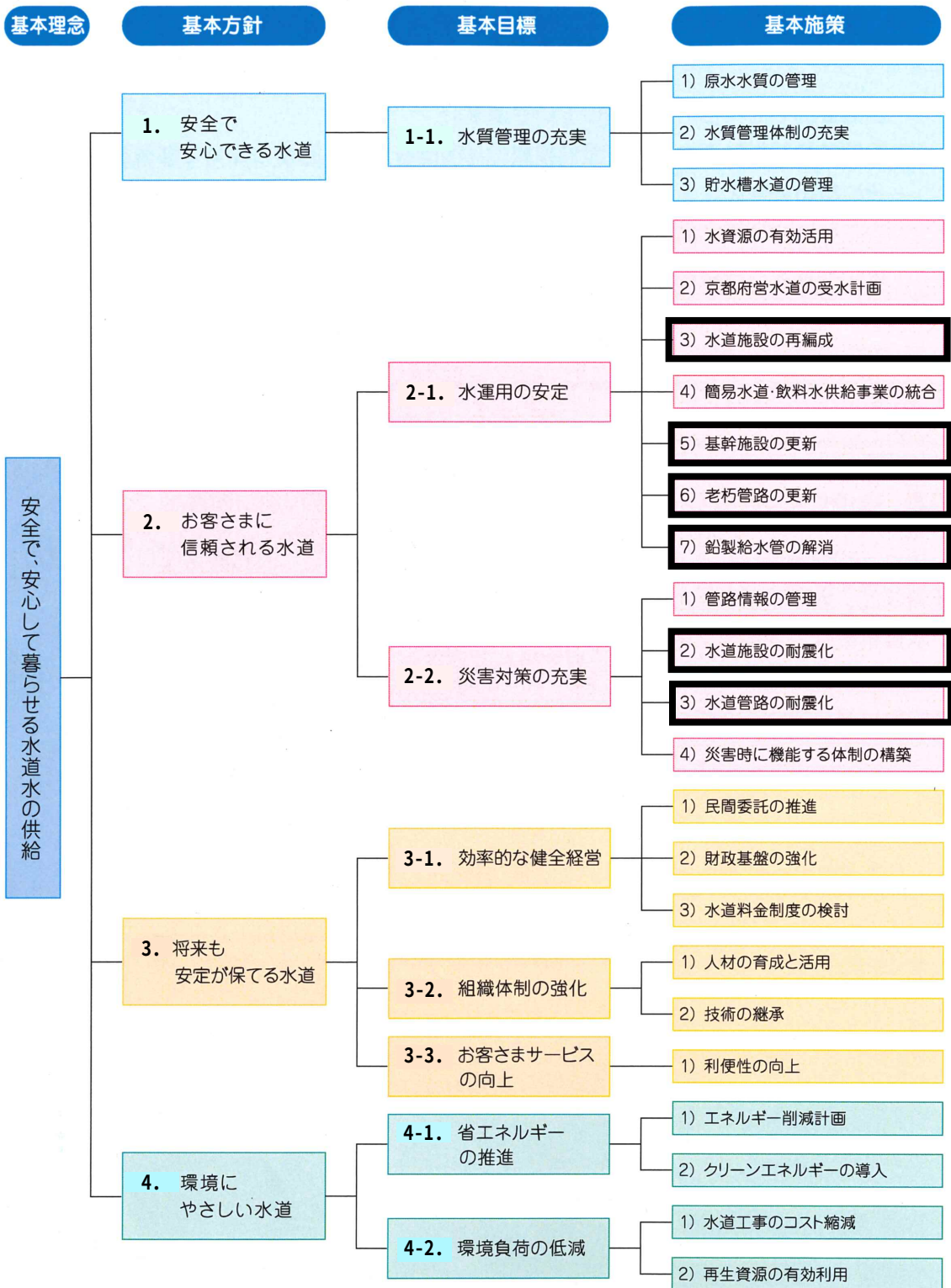
基本施策 2-2-3 水道管路の耐震化

事業・取組	2-2-3-1 基幹管路耐震化事業				
内 容	地震等災害時において、一定量の給水を確保するために下居配水池と琵琶配水池の連絡管等の整備を進め、耐震適合率を24%まで向上させることを目標とします。				
スケジュール(計画)	H29	H30	R1	R2	R3以降
実施設計・工事					
スケジュール(実施)	H29	H30	R1	R2	R3以降
実施設計・工事					
事業費	777,000千円 → 993,000千円(見込)				
評価	令和2年度末に下居配水池と琵琶配水池の連絡管等の耐震化が完了し、基幹管路の耐震適合率は約24%になる見込みです。				

4. 事業実施計画総括表

事業・取組	事業費（千円）		取組目標		
	計画額	見込額	内容	目標値	実績値
浄水場統廃合事業 (p. 3)	649, 000	847, 000	—	—	—
配水区域再編事業 (p. 4)	0	0	—	—	—
宇治浄水場 施設整備事業 (p. 5)	1, 765, 000	1, 549, 000	浄水施設 耐震化率（％）	74	74
老朽管更新・ 耐震化事業 (p. 6)	950, 000	1, 121, 000	管路耐震 適合率（％）	27	28
鉛製給水管 解消事業 (p. 7)	350, 000	144, 000	布設替件数（件）	4, 000	2, 800
主要配水池 耐震化等整備事業 (p. 8)	673, 000	775, 000	配水池 耐震化率（％）	38	38
基幹管路 耐震化事業 (p. 9)	777, 000	993, 000	基幹管路 耐震適合率（％）	24	24
合計	5, 164, 000	5, 429, 000			

「宇治市地域水道ビジョン」の施策体系



宇治市地域水道ビジョン 第3次財政収支

総 括

令和3年3月

宇治市上下水道部

1. 宇治市地域水道ビジョン第3次財政収支について

上下水道部では、平成22年3月に「宇治市地域水道ビジョン」を策定し、水道事業の指針を定め、健全な事業運営に努めてまいりました。

「宇治市地域水道ビジョン」の基本施策を推進するため、3年毎に事業実施計画を策定しており、財政収支は計画期間の施策を実施していく上での、財政的な裏付けを明らかにするもので、平成29年度から令和2年度までの第3次事業実施計画期間の結果を検証いたしました。数値については、平成29年度から令和元年度は決算額、令和2年度は決算見込額としております。

2. 収益的収支

1) 収益的収支総括

(税抜、単位：千円)

	第3次計画期間			
	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
収益的収入	3,583,845	3,537,902	3,562,304	3,524,595
収益的支出	3,300,303	3,343,274	3,389,422	3,565,692
純損益	283,542	194,628	172,882	△ 41,097

平成28年度に水道料金を改定したため令和元年度までは黒字となるものの、収益的収入は減少傾向にあり支出は増加していくため、令和2年度の収益的収支は赤字となる見込みです。

2) 収益的収入の内訳

(税抜、単位：千円)

	第3次計画期間			
	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
収益的収入	3,583,845	3,537,902	3,562,304	3,524,595
給水収益	2,993,340	2,958,518	2,928,294	2,601,352
長期前受金戻入	296,757	298,172	319,233	297,878
その他収益	293,748	281,212	314,777	625,365

給水収益は、人口減少や節水意識の高まりなどによる水需要の減少により、減り続けています。なお、令和2年度は、新型コロナウイルス対策による水道料金等減免事業の補助金により、給水収益が減少し、その他収益が増加しています。

3) 収益的支出の内訳

(税抜、単位：千円)

	第3次計画期間			
	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
収益的支出	3,300,303	3,343,274	3,389,422	3,565,692
人件費	443,270	465,009	449,036	461,873
修繕費	249,948	266,236	269,532	273,621
受水費	1,313,121	1,298,765	1,295,719	1,423,767
減価償却費	680,714	726,899	749,210	793,057
資産減耗費	39,808	13,830	47,020	10,505
企業債利息	105,634	97,319	88,382	80,488
その他費用	467,808	475,216	490,523	522,381

受水費は、令和2年度から京都府営水道料金の改定のため大幅な増加を見込んでいます。減価償却費は、宇治浄水場施設整備事業や老朽管更新・耐震化事業などの実施に伴い増加しています。資産減耗費は平成29年度と令和元年度に宇治浄水場施設整備事業などのため増加しています。企業債利息は、計画的な返還に伴い減少していく見込みです。

3. 資本的収支

1) 資本的収支総括

(税込、単位：千円)

	第3次計画期間			
	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
資本的収入	1,321,789	1,110,511	2,048,569	2,403,608
資本的支出	2,124,420	1,703,530	2,935,558	3,362,509
収支不足額	△ 802,631	△ 593,019	△ 886,989	△ 958,901

老朽化が進む水道施設の更新・耐震化事業を着実に進めるため、資本的支出が大きく増加しています。収支不足額については企業債を借り入れるとともに、内部留保資金等で補てんしながら対応していく予定です。

2) 資本的収入の内訳

(税込、単位：千円)

	第3次計画期間			
	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
資本的収入	1,321,789	1,110,511	2,048,569	2,403,608
企業債	706,600	644,000	1,165,300	1,430,000
寄付金	18,221	10,016	14,428	26,772
工事負担金等	349,304	228,344	113,692	304,946
出資金	247,664	228,151	755,149	641,890

老朽化が進む水道施設の更新・耐震化事業を着実に進めるため、令和元年度以降の企業債を増額で見込んでいます。出資金は地方公営企業繰出金の対象となる経費が多い事業を実施したため、令和元年度及び令和2年度は増加しています。

3) 資本的支出の内訳

(税込、単位：千円)

	第3次計画期間			
	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
資本的支出	2,124,420	1,703,530	2,935,558	3,362,509
建設改良費	1,673,560	1,249,052	2,498,973	2,915,408
企業債償還金	450,860	454,478	436,585	447,101

基幹施設である宇治浄水場や基幹管路の更新・耐震化事業を実施したことにより、令和元年度から令和2年度の建設改良費は大きく増加しています。

4. 総括

(税抜、単位：千円)

	第3次計画期間			
	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
収益的収入	3,583,845	3,537,902	3,562,304	3,524,595
収益的支出	3,300,303	3,343,274	3,389,422	3,565,692
純損益	283,542	194,628	172,882	△ 41,097

資本的収入(税込)	1,321,789	1,110,511	2,048,569	2,403,608
資本的支出(税込)	2,124,420	1,703,530	2,935,558	3,362,509
収支不足額(税込)	△ 802,631	△ 593,019	△ 886,989	△ 958,901
消費税調整額	89,393	66,206	175,410	226,023
収支不足額	△ 713,238	△ 526,813	△ 711,579	△ 732,878

補てん財源	1,588,749	1,698,345	1,636,459	1,368,145
損益勘定留保資金	844,886	759,854	525,086	297,869
未処分利益剰余金	743,863	938,491	1,111,373	1,070,276
退職・修繕引当金	437,965	407,522	388,972	346,281
資金残高(内部留保資金)	2,026,714	2,105,867	2,025,431	1,714,426

企業債残高	5,791,347	5,980,869	6,709,584	7,692,483
-------	-----------	-----------	-----------	-----------

収益的収支は、令和2年度に赤字となる見込みであり、補てん財源で補てんしていくと、資金残高(内部留保資金)は約17億円まで減少する見込みです。

資本的収支は、老朽化した水道施設の更新・耐震化に取り組んでおり、収支不足額については企業債を借り入れるとともに、内部留保資金等で補てんしながら対応していく予定です。

企業債残高は、水道施設の更新・耐震化事業の実施に伴い増加していく見込みです。

5. 今後に向けた課題と展望

水道は市民の生活に必要不可欠なものであり、これまで「安全で、安心して暮らせる水道水の供給」を基本理念とした「宇治市地域水道ビジョン」を指針とし、実施計画に基づいて事業を進めてきました。

しかし今般、人口減少や節水意識の向上などにより水需要が減少傾向にある一方で、人口急増期に建設した水道施設の老朽化が進む中、地震などの災害に備えた対策が求められており、今後の水道事業運営は一層厳しさを増していくことが予測されます。

これらの背景から、次なる事業計画として厚生労働省の新水道ビジョンで示されている50年後、100年後の将来を見据えた視点を持ち、今後10年間の水道事業の方向性及び投資・財政計画を示した「宇治市水道事業ビジョン・経営戦略」を策定いたします。経営戦略は、公営企業が将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画です。今後の財政収支については、経営戦略により進捗管理や事後検証を行います。

厳しい経営状況のもとですが、より一層、効果的で効率的な事業運営に努め、「安全な水道水の確実かつ持続的な供給」を新たな基本理念に掲げ、これからも未来へつながる水道事業を目指してまいります。

宇治市水道事業ビジョン・経営戦略 第１次事業実施計画

(案)

令和３年３月

宇治市上下水道部

1. 策定の目的

現在、「宇治市水道事業ビジョン・経営戦略」（以下、「水道ビジョン」という。）を策定しており、今後10年間の水道事業の方向性および投資・財政計画を示しました。水道ビジョンでは、宇治市水道事業の基本理念を「安全な水道水の確実かつ持続的な供給」とし、基本方針、基本目標を定め、目標を実現するための基本となる施策を示しています。

この事業実施計画は、水道ビジョンの基本施策を実現するための具体的な取り組みを定めたもので、事業の目標、内容、取組予定を具体化し、事業執行の財政見通しを立てた上で、実施計画に基づき事業を実施することにより、水道ビジョンの着実な実現を目指すものです。

2. 策定期間

事業実施計画は令和3年度～5年度までの3年間を第1次、令和6年度～8年度までの3年間を第2次、令和9年度～12年度までの4年間を第3次事業実施計画とし策定します。

また、施策の進捗や事業の成果を検証し、事業ごとの評価を行い、適宜内容を見直すこととします。



3. 事業実施計画

基本目標 1-1 水質管理の充実

基本施策 1-1-3 鉛製給水管の解消

事業・取組	1-1-3-1 鉛製給水管解消事業			
内 容	老朽管更新・耐震化事業等にあわせて、鉛製給水管の布設替えを進め、年間1,000件の布設替えを目標とします。			
スケジュール	R3	R4	R5	R6以降
鉛製給水管布設替え				
事業費	300,000千円			

基本目標 2-1 水道施設の更新・耐震化の推進

基本施策 2-1-1 浄水場等の整備

事業・取組	2-1-1-1 浄水場整備事業			
内 容	宇治浄水場の急速ろ過機、電気・機械設備等、老朽化した設備を更新します。			
スケジュール	R3	R4	R5	R6以降
工 事				
事業費	1,341,000千円			

事業・取組	2-1-1-2 主要配水池・ポンプ場耐震化等整備事業			
内 容	水道施設の再編成を進めながら、五ヶ庄配水池・ポンプ場の耐震化、老朽化した設備の更新等および琵琶ポンプ場の送水能力増強、老朽化した設備の更新等を行います。神明高区配水池の廃止により、配水池の耐震化率は39%に向上する見込みです。			
スケジュール	R3	R4	R5	R6以降
工 事				
事業費	502,000千円			

基本施策 2-1-2 管路の更新・耐震化

事業・取組	2-1-2-1 基幹管路更新・耐震化事業			
内 容	琵琶送水管、琵琶配水本管等の基幹管路の更新・耐震化を進め、基幹管路の耐震適合率を27%まで向上させることを目標とします。			
スケジュール	R3	R4	R5	R6以降
実施設計・工事				
事業費	965,000千円			

事業・取組	2-1-2-2 老朽管更新・耐震化事業			
内 容	石綿セメント管や鋳鉄管等の老朽管の更新・耐震化を進め、管路の耐震適合率を29%まで向上させることを目標とします。			
スケジュール	R3	R4	R5	R6以降
老朽管布設替え				
事業費	750,000千円			

基本目標 3-1 安定した水運用

基本施策 3-1-1 水道施設の再編成

事業・取組	3-1-1-1 浄水場統廃合事業			
内 容	令和3年度末の完成を目途に、新たな浄水場（広野町浄水場）を整備し、老朽化した神明、奥広野浄水場の統廃合を行います。浄水場の統廃合により、浄水施設の耐震化率は82%に向上する見込みです。			
スケジュール	R3	R4	R5	R6以降
工 事 浄水場統廃合				
事業費	220,000千円			

事業・取組	3-1-1-2 配水区域再編事業			
内 容	将来の水需要を見据えた施設の規模・配置の適正化を図るとともに、平常時における水量・水圧の安定と災害時における給水の相互運用を図るため、配水区域の再編に基づき、順次、配水区域の変更を行います。			
スケジュール	R3	R4	R5	R6以降
配水区域変更				
事業費	32,000千円			

「宇治市水道事業ビジョン・経営戦略」の施策体系

